

アカゲラ通信

2017年10月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「レストハウス」営業は11月5日(日)まで

「レストハウス」今年の営業は11月5日(日)までです。

冬の間は休みますが、それまでは営業時間10時～17時で毎日オープン、コーヒー、ソフトクリーム、肉まん、ポテトフライなどのスナック類やピラフなどの軽食をご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

秋の旭山、木の実草の実いろいろ

10月に旭山で見られる木の実や草の実の写真を集めてみました。

秋の公園散策ではその色彩や形で楽しませてくれます。

いちばん下の段の4種類が草、それ以外は木になる実です。



◎クリ
今年は実入りがいい。
エゾリスもよく来ます。



◎ツノハシバミ
「ヘーゼルナツ」の仲間。
旭山に数カ所あります。



◎ナナカマド
野鳥の冬の食料。
秋はまだ食べません。



◎ミズナラのどんぐり
今年は「やや不作」。
旭山では入口の門横の
木の下にたくさん落ちてい
る以外、どんぐりがなった
ミズナラは2、3本しか
確認できませんでした。



◎サワシバ
ホップのような形。
カバノキ科の樹木です。



◎イチイ(オンコ)
ヤマガラの大好物。
中の種子は有毒です。



◎ノブドウ
色とりどりの鮮やかな実。
でも食べられません。



◎ヤマブドウ
あれはきっと酸っぱい…
今年も多く実りました。



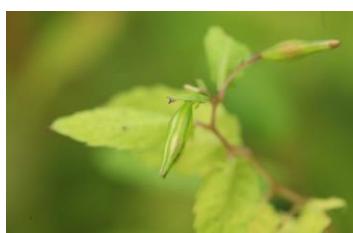
◎マムシグサ
林床で目を引く色合い。
実は有毒です。



◎マイヅルソウ
小さなルビー色の実。
小群落が数カ所あります。



◎ゲンノショウコ
お神輿のてっぺんの飾り
に似た形から「神輿草」。



◎キツリフネ
触ると種が弾け飛ぶ
通称「おこりんぼ」。

「旭山野鳥観察会」「自然観察会」の予定

●「旭山野鳥観察会」は直近が10月14日(土)、その次が11月11日(土)開催となっています。

朝8時「森の家」集合 参加費100円(保険代として) 小雨決行です。

●「自然観察会」は10月28日(土)、朝9時半「森の家」集合、参加費100円(同)、小雨決行です。

みなさまのご参加をお待ちしております！

2017年9月から10月の旭山野鳥情報

◎10月、札幌では夏の鳥と冬の鳥が入れ替わる時期です。

●去る鳥たち～南に渡つていなくなる夏鳥たち

★9月中から10月上旬までにいなくなつた鳥：キビタキ、コサメビタキ、オオルリ、クロツグミ、ヤブサメ、ツツドリ

=これらの鳥の多くは東南アジアで越冬します（クロツグミは西日本から中国で越冬）。

※アオバトは円山では10月下旬まで見られますが旭山ではもう見られなくなりました。

★10月中にいなくなる夏鳥：ホオジロ、アオジ、メジロ、ウグイス、キセキレイ、キジバト

=これらの鳥は（アオジ以外）本州では冬も含めて一年中見られます。

→面白いことに、早くに南に行く鳥ほど遠くで越冬する傾向が見られます。

★ルリビタキ=夏は高山で繁殖し10月に南に渡る前の短期間旭山にも現れます。

●来る鳥たち～北から渡つて来る鳥、山から低地に降りてくる鳥、冬の鳥たち

★カケス：9月26日（木）この秋初めて旭山で声を確認。以降毎日声や姿が確認されていますが、このまま冬の間も居つくかはもう少し様子見です。

★シメ：9月26日（木）にこの秋初めて旭山で確認。シメは道内では1年中見られる鳥ですが旭山では6月から8月には見られず秋から春まではよく見られます。

★キバシリ、キクイタダキ、コガラ、ミソサザイ、ウソ=いずれも夏の間も北海道の山にいる鳥ですが、この秋はまだ旭山では確認されていません。

★ツグミ=10月中～下旬にやって来て冬の間旭山でもおなじみの鳥になります。

★ベニヒワ、マヒワ、アトリ=いずれも10月中に見られるようになりますが年によりまったく見られないこともあります。

★ヒレンジャク、キレンジャク=旭山ではヒレンジャクは10月下旬から1月上旬まで見られ、その中にキレンジャクが混じることがあります、キレンジャクは来たり来なかつたり群れで冬の長期間滞在したりと年により動きが違います。

●北から渡つて来て南に移動する途中で旭山に寄る旅鳥たち

☆マミチャジナイ、シロハラ=毎年10月下旬から10日間ほど見られます。

☆カシラダカ=10月に見られますがたいてい1、2日のみの滞在です。

☆ミヤマホオジロ=11月に数日見られますが半月ほど滞在した年もあります。

◎1年中見られる鳥=留鳥の動き

☆クマゲラ=秋になり「森の家」周辺での目撃情報が増えました。

☆ヤマゲラ=9月は「森の家」の周りで今年巣立った雄の個体がほぼ毎日見られましたが、10月に入り目撃が園内で分散してきました。

☆エナガ（亞種シマエナガ）=10羽以上の群れが時々見られます。

※その他カラ類はいつでもよく見られますが、ヒガラは囁りしなくなりました。



↑アオジ雌



↑ヤマゲラ雄



大ニュース！ 2017年10月1日（日）、旭山上空に
クマタカ2羽（おそらくつがい）が来ました。

「旭山昆虫リスト」経過報告 2017年10月

2017年8月ごうで「旭山昆虫リスト」を作り始めたことを話しました。

その時点でリストに上がったのは155種でしたが、それから約2ヶ月後の10月5日時点でリストは194種に増えました。

カミキリムシとカメムシでよく調べると違う種と分かるものが多く出ましたが、一方でハエ・アブ・ガ、ハチの仲間では明らかにリストにある種とは違うことは分かるものの図鑑と照合するだけでは同定できない種が多数出てきました。

来年は専門家の方をお呼びすることも検討しながらリストアップ作業を続けてゆきます。



↑名前の分からない
スズメバチに擬態したアブ

編集後記

今年の秋はエゾリスを園内できわめてよく目にします。

栗や胡桃を地面や木の樹皮の間などに埋める「貯食」行動をとる

エゾリス、今の時期、木の上ではなく地面で見かけることが多いです。

まだ耳の毛が短いエゾリスもそろそろ長い「冬毛」になります。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第47号 2017（平成29）年10月7日発行

発行：（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話011-200-0311（土・日・祝日10時～16時）FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>